

# 金沢錦丘高等学校の沿革と創立記念日

学制改革で閉校となった金沢第二中学校OBの熱い思いに後押しされ、その校歌の一節「紫錦陵にしきがおかの学窓に」から校名をとり、昭和三十八年、新設高校の一つとして本校が誕生した。開校当時より、二中卒業生の皆様から物心両面の惜しみない援助を受け、周囲の温かい見守りの中で、二中の規律ある校風を受け継ぎ、名実ともに二中の後継校として今日の進学校にまで発展してきた。

平成十六年度、県内初の併設型中高一貫教育校として、「新生錦丘」を合い言葉に新たな一步を踏み出し、今年度で九年である。伝統ある錦丘高校に新生錦丘高校の新しい歴史を重ねるために、錦丘中学校及び県内各中学校からの生徒が互いに切磋琢磨し、「弘毅篤学」の校訓を胸にそれぞれの夢の実現に挑戦し続けている。

来る九月二十五日は、二中に倣い、本校の創立記念日として定めた日である。そして、来年度は開校から五十年の節目を迎える。創立記念日を本校の歴史を振り返る好機とするとともに、次の五十年へのさらなる飛躍を期して、探究心を持つて自ら主体的に取り組み、創意工夫ある努力を重ねて、自立した社会人となるべく自己を確立していく決意を新たにする日としたいものである。